

エリアウェーブ

峡東教育事務所
 地域教育支援スタッフ
 TEL 0553-20-2731
 FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由どうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。 Email : hirayama-atx.jp@pref.yamanashi.lg.jp

共に育ち合うこと ～インクルーシブ教育と人権～

11月22日(木)、いちのみや桃の里ふれあい文化館において、峡東地域教育推進連絡協議会、笛吹市教育委員会主催の人権のための講演会を開催しました。講師に、山梨大学大学院教育学研究科の鳥海 順子教授を招き「共に育ち合うこと ～インクルーシブ教育と人権～」というテーマで講演をしていただきました。

約80名の教育関係者や保護者が参加し、ユニバーサルデザインの考え方や教育、権利に関する条約(障害者人権条約)とインクルーシブについて学ぶ機会になりましたので、一部講演内容を紹介させていただきます。



(鳥海教授)

ユニバーサルデザインとは、障害者のために住みやすい環境を作っていこうというバリアフリーの考えからさらに進化したものである。

ユニバーサルデザインに基づく学校は子どもたちにとって伸び伸びと過ごせる楽しい場でなければならない。・・・自分の興味・関心のあることにじっくり取り組めるゆとり・・・分かりやすい授業が展開され、分からないことが自然と分からないと言え、学習につまずいたり、試行錯誤することが当然のこととして受け取られる学校でなければならない・・・かけがいのない一人の人間として大切にされ、頼りにされていることが実感でき、存在感と自己実現の喜びととならなければならない。

(学校再考 平成10年 教育課程審議会答申より)

インクルーシブ教育とは、統合教育のように予め健常児と障害児を区別した上で、同じ場所で教育するという考え方ではなく、いろいろな子どもがいるならば、それに合わせ教育も変わっていかなければならないという考え方の教育。

障害のある子どもが十分に教育を受けられるための合理的配慮として、多様な学びの場の整備と教職員の確保、学校間連携の推進、交流や共同学習の推進が課題となる。

** 今望まれる「学校力」 **

～教師が協働して授業改善にあたる学校づくり～

支援の必要な子どもが適応しているクラスの共通点

「教室の空気が軽くてリラックスできる雰囲気がある。言語環境と教室環境がしつとりと整えられている。何をねらった授業なのか教室に入った瞬間にパッとわかる。教師の言葉がわかりやすい。注意や叱責がなく、声のトーンが低く抑えられている。子どもたちが互いの発言をよく聴いている。知識を一方向的に教え込むような授業ではなく、子ども同士学び合う授業が展開されている。競争ではなく、学び合いの中で、子ども達は互いの多様性と善さを認め合っている。」

筑波大学付属大塚特別支援学校

地域支援 阿部 博志 先生 より

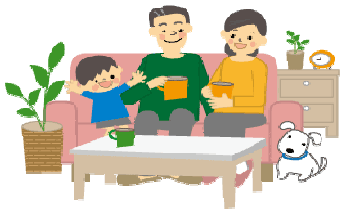
日頃から、障害の有無にかかわらず、お互いのよさを認め合い、相手の立場に立った行動ができるよう心がけたいと思いました。



「わたし メッセージ」 ♡ 「あなた メッセージ」

心理学者B.F. スキナーによると、人間の言語は大きく、「マンド」という部類と「タクト」という部類に分かれます。タクトは、ものに名前を付けて説明するものです。マンドは、自分と相手の要求を調整するもので、何かをお願いしたり、頼んだり、断ったりする言葉です。「あなたメッセージ」とは“あなた”を主語にする言い方で、「わたしメッセージ」は“わたし”を主語にする言い方です。

お子さんとの日常会話を思い浮かべて下さい。「はやくして」「どうしてそんなことするの」・・・。日本語の場合は“あなた”や“わたし”という主語を使わない場合が多いので、主語を付けるとしたら—と考えてください。会話の中に「あなた」という言葉が入ることに気づきませんか？「(あなた) はやくして」「(あなた) どうしてそんなことするの」・・・。私たちの何気ない会話の中には「あなたメッセージ」がたくさん使用されています。



コミュニケーションを上手に取るには、「わたしメッセージ」が有効と言われます。主語を「自分自身」にすると、受け手にとっては受け入れやすく、話し手の気持ちも伝わりやすいコミュニケーションになります。「わたしメッセージ」を心がけてみませんか？

子どもたちが、携帯電話やパソコンをどのように使っているか知っていますか？

パソコン、携帯電話、スマートフォンの普及にともない、未成年者がサイバー犯罪に巻き込まれる事例が増えています。顔見知りばかりでなく、見ず知らずの相手とも、簡単にコミュニケーションがとれる便利さの裏に、思いがけないトラブルの原因も潜んでいます。

携帯電話は、子ども向けの機種もあり「すぐに連絡が取れる」「GPSで居場所の確認ができる」といったメリットから、子どもが小さいうちから持たせる家庭もあります。子どもたちにとって高価なおもちゃにさせないために、買い与える際には、家庭での話し合いとルール決めが大切です。どんなに便利な道具でも使い方を間違えるとケガをすることがあります。

より効果的な活用ができるよう、携帯はリビングなど家族が共有する場所で使用する。〇時以降は充電器に置くなどのルール作りから始めてみてはいかがでしょうか？

SNSってなに？

ソーシャル・ネット・ワーク・サービスの略

ネット上で友人や知人、見知らぬ人ともコミュニケーションがとれ、共通の話題で盛り上がる仲間をさがすことができるサイト。会員登録をすればパソコンや携帯電話からアクセスができ、誰でも簡単に様々なサービスを受けられる。

mixi, twitter, facebook, line, GREE, mobage など

これらは、若い世代に人気があり利用者は急増。登録は無料だが、有料のコンテンツがあり高額請求をされるケースもある。また「非出会い系」と位置づけられながらも、事件に巻き込まれるケースもある。

ケータイ、ネット依存症？

常に携帯電話を利用して誰かと繋がっていないと精神的に安心できない状態になる症状をケータイ、ネット依存症という。具体的には、一日中メールのやり取りをしたり、時間があればインターネットを使ってサイトを見て回ったり、オンラインゲームなどを止められない等のことをいう。依存率は女性の方が高く、頻繁な交信から掲示板のチェックや書き込みにおわれ、学習時間や就寝時間が削られるなど、生活習慣の乱れの一因に。

博報堂DYメディアパートナーズメディア環境研究所の調査で、高校生の二人に一人はスマートフォンを所有し、ほぼ二人に一人は「一日中さわっている」というアンケート結果が発表された。(2012. 12. 10)

スマホはケータイ

ではない？

スマートフォンは携帯電話の機能を越えた、持ち歩ける小さなパソコン。フィルタリングは個人や家庭で設定を。アプリのダウンロードは安全性の高いサイトから！！



バレーボール教室 塩山カトリック幼稚園

11月7日、塩山体育館でロサンゼルスオリンピック銅メダリストの三屋裕子さんを指導者に招いたバレーボール教室が行われ、塩山カトリック幼稚園児39名が参加しました。これは、文部科学省の「スポーツ選手活用体力向上事業」の一環として、甲州市教育委員会が開催しました。

三屋さんは「がんばって挑戦する」を合言葉に、バレーボールの要素を取り入れたボール運動を指導してくれました。子どもたちは「ボールをやさしくあげて」「ひざをまげて」と子どもと同じ目線になり指導する三屋さんの言葉を受け、何度も挑戦していました。



(ボールを好きになって帰ってね)

集まれちびっ子！広かれ子育ての輪！ 甲州市子どもフェスタ

第7回甲州子どもフェスタが11月8日、甲州市塩山ふれあい会館で開かれました。「集まれちびっこ！広かれ子育ての輪！」をテーマに、約250組の親子が集いました。

このフェスタは子育てサークルやボランティア団体など、多くの方々の協力で企画・運営され、今年もたくさんブースがあり、大盛況でした。また、塩山高校3年生の家庭介護・福祉を選択している生徒さんもボランティアとして参加し、地域で盛り上げるフェスタでした。



(塩山高校生と親子)



(親子あそび)

手形足形、情報コーナー、あそびのひろば、おもちゃと絵本の交換、手細工のオモチャで遊ぼう、歯科検診・フッ素塗布、前髪カットコーナー、防災・安全コーナー

・・・プチイベントコーナー・・・
助産師さんとベビーマッサージ、絵本の読みきかせ、子育て何でも相談、子育てミニ講座、はらぺこ食育広場

古民家体験

NPO法人「学びの広場ふえふき」

11月18日、笛吹市芦川の茅葺古民家「藤原邸」で、芦川支所主催の、「ほうとう作り体験」と「篠笛演奏会」が行われ、NPO法人「学びの広場ふえふき」で、篠笛の指導を受けている児童・生徒や地元の子どもたちが参加しました。「学びの広場ふえふき」では、地域学習の支援として、子どもたちの地域を学ぶ活動や伝統文化を学ぶ活動を行っています。

ほうとう作りでは、地元芦川産の野菜を切ったり、ほうとうの麺を打ったりしました。採れたての野菜に打ち立ての麺、仕上げは手作りの味噌。大きな鍋で調理したアツアツのほうとうは、大パノラマの景色という最高の調味料を加え、参加者のお腹を満たしました。

篠笛演奏会では、毎月2回日曜日に開かれる「篠笛教室」で練習してきた、「かごめかごめ」「夕やけこやけ」など13曲を披露しました。また、篠笛のワークショップがあり、演奏を聴きにきた方々と交流する場になりました。古民家・ほうとう・篠笛・地域の方々・郷土のよさに触れられた1日でした。



(ほうとうの麺打ち)



(青空のもと アツアツを)



(篠笛ワークショップ)



(古民家で篠笛演奏)

ことぶき勸学院

第26回勸学院祭が10月18日、コラニー文化ホールで行われました。今年のテーマは「学び合い 地域に生かせ 勸学院」。東山梨学園の和田はま江さんの作品が選ばれ、表彰されました。

峡東管内では東八代学園が創作曲「笛吹権三郎」～笛吹川の由来～、峡東教室・東山梨学園が合唱「花かげ」「サライ」踊り「これから音頭」を披露し、会場から大きな拍手をいただきました。

また、12月5日～7日（峡東教室・東山梨学園）、12月7日～10日（東八代学園）の展示発表がありました。どの作品も力作で、絵画・写真・手芸・絵手紙・盆栽などたくさんの作品が展示されていました。今回は、講座日の午後に行っているクラブ活動で制作したものも展示され、実りある勸学院の活動の様子がうかがえました。



（峡東教室・東山梨学園の発表（上））



（東八代学園の展示作品）

県立産業技術短期大学校学園祭「産技祭」開催

10月27日（土）に産業技術短期大学校の学園祭「産技祭」が開催されました。地域の方など多くの参加者でにぎわい、学生による模擬店やパフォーマンス、コンサートライブの催しの他、県立農業大学校の野菜や宝石美術専門学校学生の製作品の販売も行われました。

また、「小学生ものづくり体験塾」では甲州市内の小学生が産業技術短期大学校の先生や学生と一緒にフォトスタンドや鉄道ジオラマの製作など、「ものづくり」にチャレンジしました。



（模擬店）



（小学生ものづくり体験塾）



（学生パフォーマンス）

県立産業技術短期大学校平成25年度一般入学検定試験

産業技術短期大学校では平成25年度一般入学検定（前期日程）を実施します。

○出願期間 平成24年12月17日（月）～平成25年1月29日（火）（必着）

○選考試験 平成25年2月5日（火）

お問い合わせ：産業技術短期大学校 教務学生課 電話0553（32）5201

「平成25年4月 都留キャンパスが開校します。」

放課後子ども教室 (山梨市・笛吹市)

☆「コスミックカレッジ」・・・11月17日(土)☆

第2回コスミックカレッジが山梨市民会館において開催され、山梨市内の小学校3年生から6年生36名が参加しました。

子どもたちに科学に関心をもってもらうため、山梨市教育委員会・宇宙航空研究開発機構(JAXA)が主催、山梨市青少年サイエンス活動支援会が後援となり、宇宙に関する講義や実験を通して科学教育を行いました。

今回は「ホバークラフト」「飛ぶ種子の仕組みを知ろう」の2つの内容で実施。

指導にあたったのは山梨市青少年サイエンス活動支援会の方々。学校の先生や先生のOB、獣医さんなど様々な分野のプロが得意分野を生かし、参加者にわかりやすく説明をしてくれました。

用意されたキットを使い、ホバークラフトを製作する姿。製作したホバークラフトを試走させる滑走路作りや遠くまで動かすためにはどうしたらいいのか、自分たちで思考する姿は未来の科学者を思わせるものでした。



(ホバークラフトの試走)



(今度は飛ぶかな?)

☆「英語であそぼう」・・・11月20日(火)☆

笛吹市の御坂児童センターにおいて、大学生ボランティアによる「英語であそぼう」が開かれ、20名の児童が参加しました。

これは、県教委が進める事業の一環で、大学生ボランティアとして認定された学生さんが、1時間～2時間程度、学習支援・ヒップホップダンス・ダブルダッチ・英会話などを教えるものです。

今回は、山梨大学の学生さんが絵本「はらぺこ あおむし」を英語で読みながら、話にでてくるくだもの・曜日、数字を質問したり、英語で「色おに」をしたり楽しい時間を設定してくれました。

子どもたちは、先生の質問や単語を聞き間違えないように、集中して参加していました。



(APPLE・・・アポー)



金銭教育 塩山北小学校

11月14日、甲州市立塩山北小学校は、山梨県金融広報委員会より「金銭教育」の指定を受け、県教育委員会の指導の元、金銭教育公開研究会を行いました。

5年生は、総合的な学習の時間で「開発しよう！ヒット商品」という単元を設定し、「アントレプレナーシップ教育」の方法を取り入れ学習を進めてきました。当日は、自分たちが開発に取り組んだ商品のプレゼンテーションをし、それを、商品開発の専門家である小林哲夫さんに「商品としてどうか？」評価をしていただきました。

授業後は、研究主題である「生き生きと学び合い、心豊かに生きる子どもたちの育成」をするための取り組みや授業について研究協議が行われました。

金銭教育とは・・・「ものやお金を大切にすることを通じて、お金や労働の価値を知り、感謝と自立の心を育てることによって、人間形成の土台作りを目指す教育

(評価者の小林さん)



(プレゼンテーションの様子)



和敬・叡智・創造

Road Of Enzan.H.S 2012

塩山高等学校の歩み

塩山高校初代マスコットキャラクター決まる★



今年の学園祭のイベント企画の一つとして、生徒及び職員に広く募集、多数の応募作品の中から、投票の末に決定。その名も“ソルト・ガンバルくん”、何事にも一生懸命に頑張る塩高生を応援しよう！をテーマに、白(塩)をモチーフとして、赤い鉢巻きと、学年色(赤・緑・青)の汗で努力と頑張りを表現しています。今後は、塩高生に愛され、地域の人々に親しまれるキャラクターとして、その役割が大いに期待されます。

文武両道のススメ♪

充実した施設・設備の中で、先生方の熱心な指導の元、基礎学力の定着を目標に、日々の授業が実施されています。また、商業3科を中心に、各種検定等の資格取得にも意欲的に取り組んでいます。現在では、3年生が高校生活3年間の集大成となる、進路実現という大いなる目標に向かって、日々努力を続けています。

学業と並ぶ本校の両輪、部活動。数多くの部活動が日々熱心に活動を続けています。今後も数多くの実績が得られることと思います。

◆主な結果

関東大会出場 男女柔道部、相撲部、男子ハンドボール部、写真部 **東日本大会出場** 女子ソフトボール部
全国大会出場 相撲部、書道部、美術・イラスト部、放送部、資格取得部



7・22 塩山高校現る！



今年は例年学校で行っていた中学生向けの学校説明会を、甲州市民文化会館で実施しました。本校の現状をより身近に知っていただくことをコンセプトに、生徒主体の発表形式による説明会で、生徒会及び各学科代表生徒による学校・学科紹介、本校を代表する部活動生徒による部紹介、学園祭の優秀クラスによる発表等々、内容盛り沢山で塩山高校の魅力をも十分に伝える内容であったと振り返ります。また、学校公開交流週間では地域の老人クラブや保育園児等を招いての催し物や地域の校外清掃も実施しました。今後も地域に根ざした学校作りを目指し、塩山高校は日々歩み続けます。

